

取付前に、受信テストを行なってください!!

設置場所によってはテレビが映らないことがありますので、取付前に、必ず下記①～④の受信テストを行なってください。

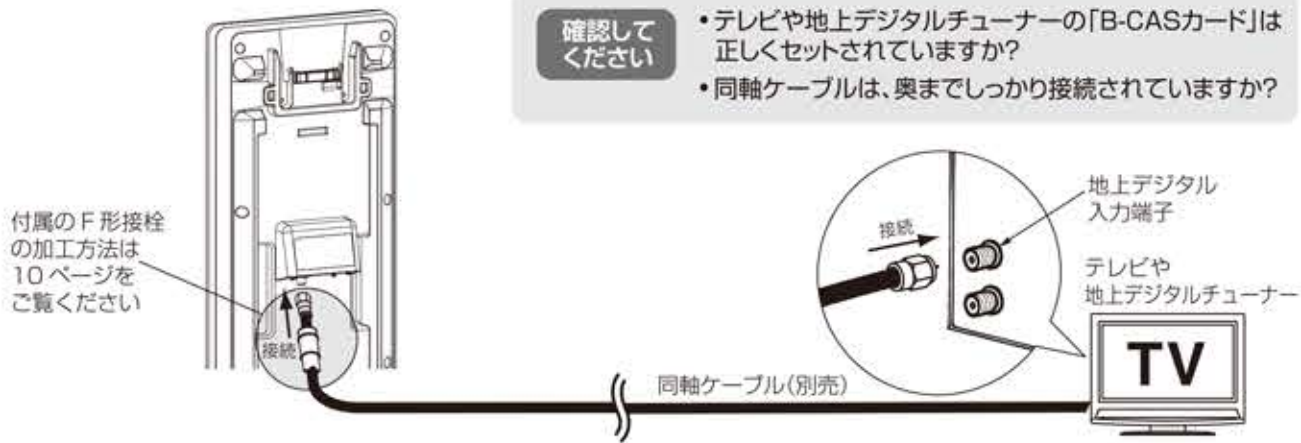


設置すると穴やキズが残るので、必ず受信テストを行なってください。

2人以上で作業することをおすすめします。

1 アンテナとテレビをケーブルで接続してください。 →10ページ参照

- テレビまたは地上デジタルチューナーとアンテナを、別売の同軸ケーブルで接続してください。
- 実際に取り付け場所までのケーブルの長さが必要ですので、事前にご確認ください。



確認してください

- テレビや地上デジタルチューナーの「B-CASカード」は正しくセットされていますか?
- 同軸ケーブルは、奥までしっかり接続されていますか?

2 テレビのチャンネルを「地上デジタル放送」にします。

テレビまたは地上デジタルチューナーの「チャンネル設定」を行なってください。機器により操作方法が異なりますので、詳しくはテレビまたは地上デジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。なお、アンテナのみ交換の場合は、すでにテレビのチャンネル設定は終わっていますので、再度行なう必要はありません。(テレビを購入した場合や、転居などの場合は再度チャンネル設定が必要です)

3 電波塔※の方向に、アンテナの受信面を向けてください。

取り付けたい場所の付近で、実際に映るかチェックします。

図のように、アンテナ背面の溝(重い場合は、左右両方の溝を持って可)を持って、電波塔のおよその方向に受信面を向けてください。一人で作業できない場合は二人以上で行なってください。



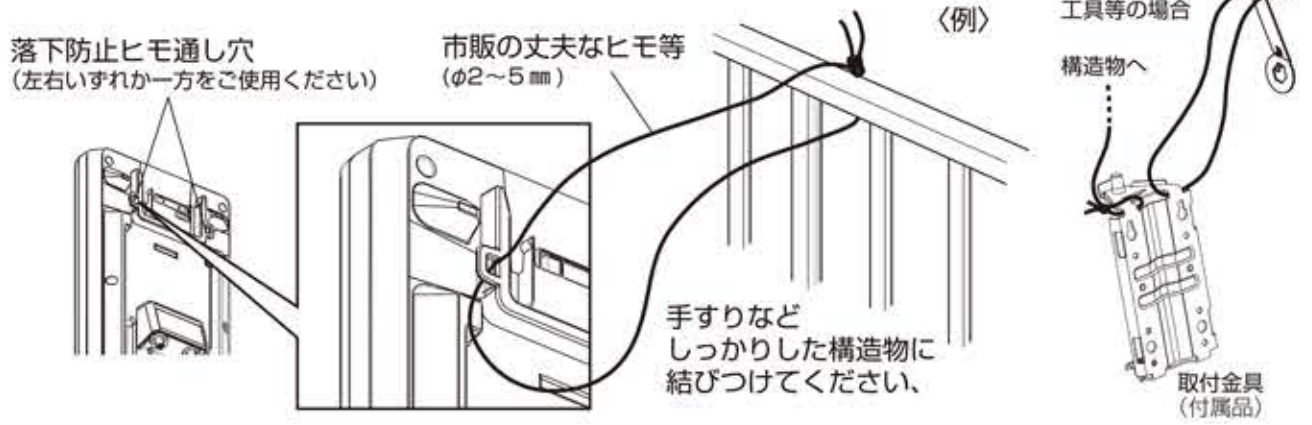
4 テレビのご希望の全チャンネルが映るか確認してください。

- 地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることを確認してください。
- テレビ画面が黒いままか、映像が乱れて映らない場合は、アンテナの受信面をゆっくり左右に角度を変えてください。また、アンテナの高さを0.5～1m変えてください。映るようになる場合があります。

正常に映った場合 → 次のページの取付に進んでください。
正常に映らない場合 → 15ページ「うまく映らないときは」をご覧ください。

落下防止の安全対策について

取付け作業中、アンテナ本体や工具が落下すると非常に危険ですので、下記のとおり、落下防止の準備をしてから作業を行なってください。

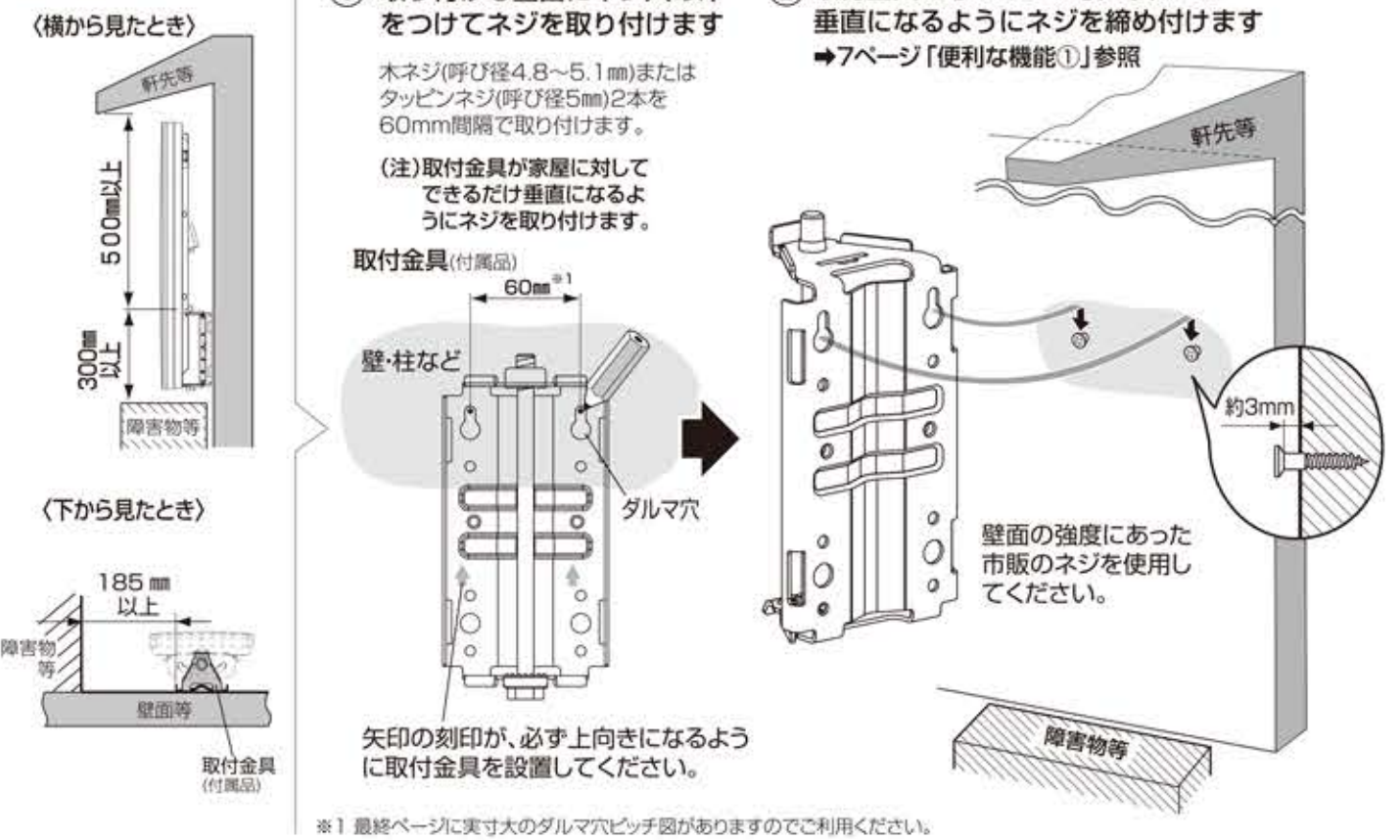


1 壁面に取り付ける場合

注意

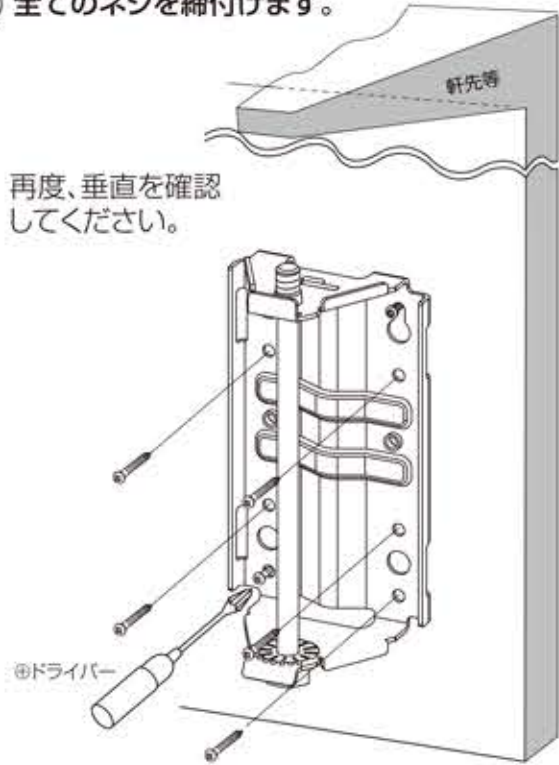
- 壁面に取り付けると壁面に穴が開きます。また、取付金具を取り付けた後は上下方向の調整ができませんので、事前に5ページの「映るか試してみよう」で映ることを確認してから工事を行なってください。なお、壁面の強度の確保とネジ穴の隙間の防水処理が必要ですので、壁面の強度がわかる工務店や工事店にご相談ください。
- 下図「設置後のイメージ」のように、取付金具の上に軒先より500mm以上離さないでアンテナ本体を取り付けられません。(取付金具の上部から下にある障害物までは300mm以上、隣り合う壁面等には185mm以上離して取付金具を取り付けてください)

■設置後のイメージ

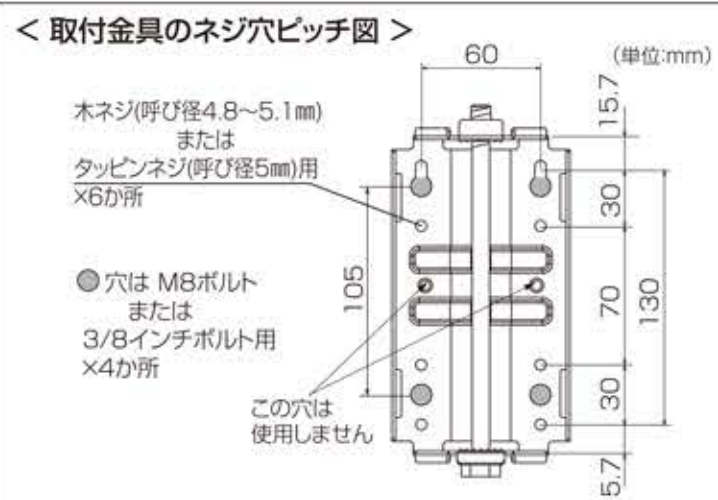


※1 最終ページに実寸大のダルマ穴ピンチ図がありますのでご利用ください。

3 全てのネジを締付けます。



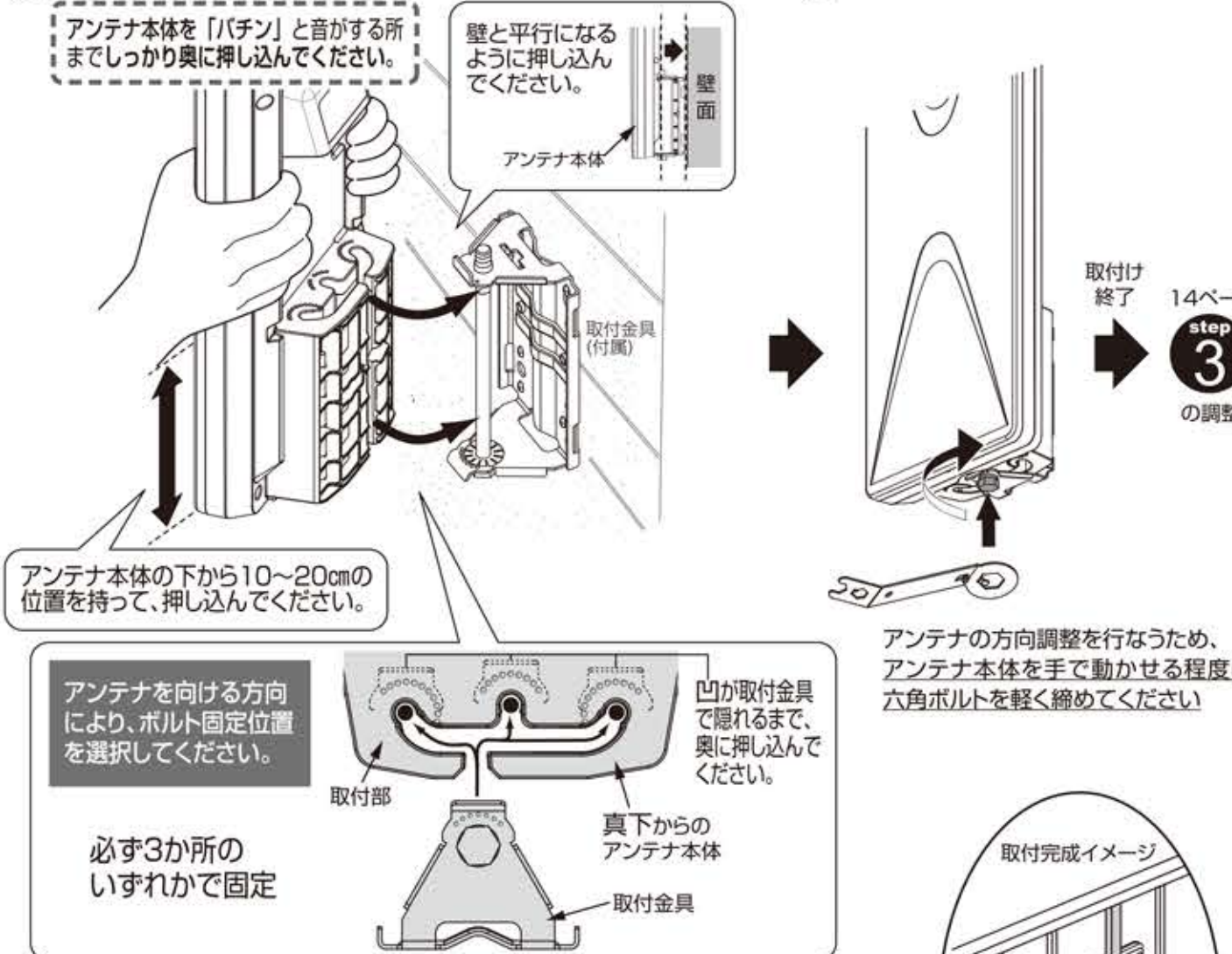
ダルマ穴を含めて、左右均等に計8か所の穴を使用してください。



注意 ネジの種類・長さ・本数は工務店に相談を
 壁に取り付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に必ず相談し、落下しないように安全性と安定性を十分に考慮してネジの種類、長さ、本数を選定してください。

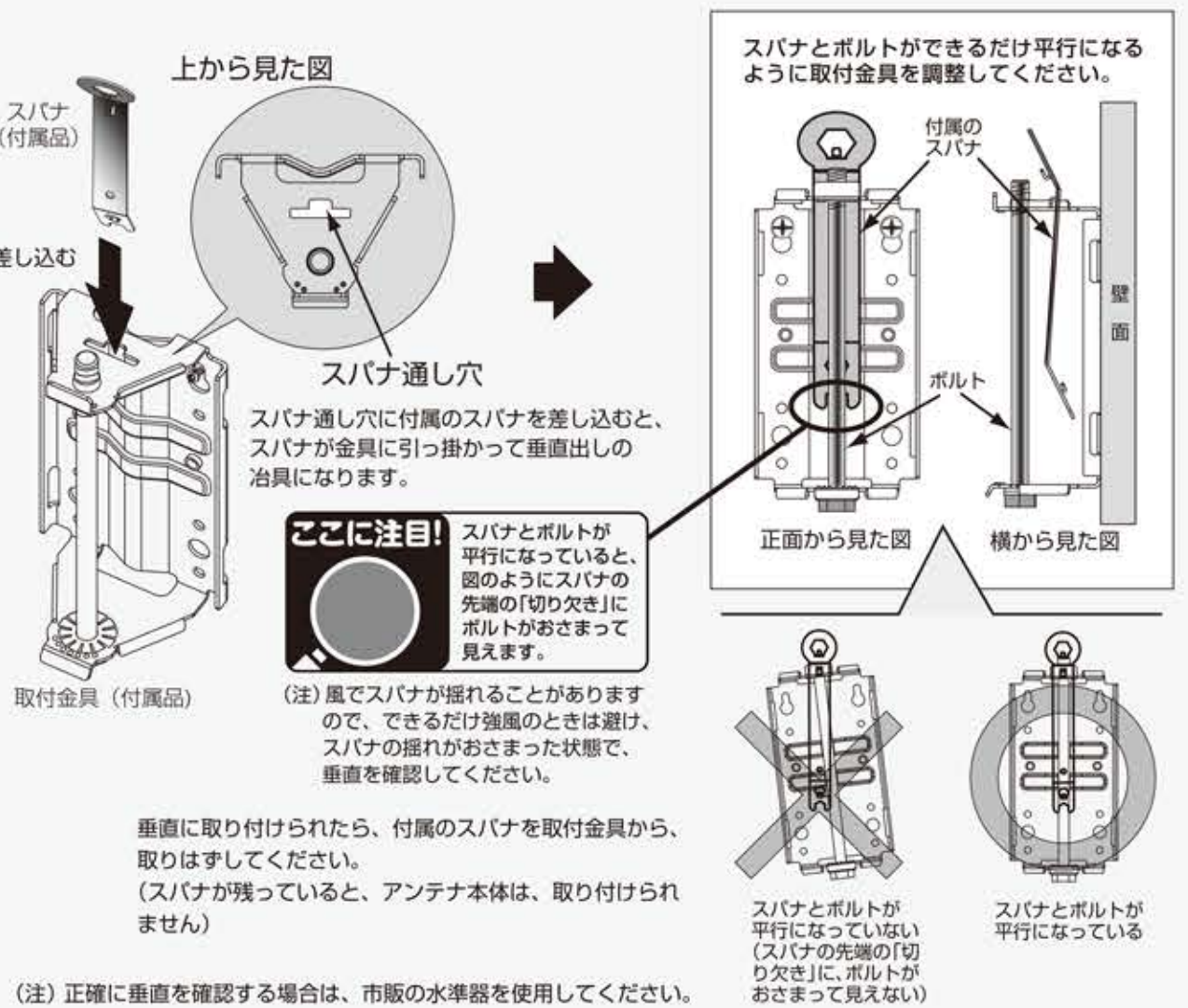
本体の取付方法

- 4 アンテナ本体を取付金具に取り付けます。
- 5 アンテナ本体を仮固定します。



便利な機能① 垂直取付の確認方法

付属のスパナを使用すると、取付金具が垂直になっていることを確認することができます。



2 ベランダ(格子)やアンテナマストに取り付ける場合

付属のマスト押え金具を使用してください。

- 適合角柱: 30×30～45×45mm
- 適合マスト径: 直径22～49mm

- 左右の凹にセットする場合
- 適合角柱: 38×38～45×45mm
- 適合マスト径: 直径38～49mm

